

【令和7年8月27日 幹部予定者課程入校式 祝辞】

## 祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校大講堂において、第百三十七期 幹部予定者課程の入校式が、厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程に御入校の皆様、本日は誠におめでとうございます。

皆様は、これまで各部隊の最前線で多くの経験を積み重ね、そのキャリアと高い能力を認められ、指揮官となるべく、晴れて幹部予定者課程に入校されました。そのような皆様をお迎えできることは、江田島市として大きな喜びであり、心から歓迎を申し上げます。

さて、今年戦後80年を迎え、日本中で平和を希求する声が一段と高まっています。しかし、世界に目を向けると、未だ終わりが見えないロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ問題に端を発した中東情勢の緊迫化など、依然として憂慮すべき状況が続いています。

こうした中、国防や国際平和協力活動を担う自衛隊の皆様に対する期待は、より一層高まっていくものと思います。

皆様におかれましては、ここ江田島で、幹部自衛官として、自衛官の心構えを改めて身につけ、各部隊で学びを生かし、国民の負託に応えていただくことを期待しております。

皆様、御存知のとおり、ここ江田島市は、今から百三十七年前の明治二十一年、海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えし現在に至る六十九年間、共存共栄一体不可分の関係を築き、皆様との縁や絆を大切に育んできた地でございます。

また、美しい自然に囲まれ、秀峰古鷹を望む風光明媚な瀬戸の島として親しまれています。

厳しい訓練の合間には、恵まれた自然や豊かな人情に触れ合いながら、島の魅力を存分に楽しみ、江田島市との「縁」を紡ぎ「絆」を深めながら、思い出深い学生生活を送っていただきたいと思います。

そして、江田島市での学生生活が、皆様にとって実りある、充実したものになることを、強く願っております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の今後益々の御隆盛、御発展、そして本日御参会の全ての皆様の御健勝と更なる御活躍を、心より心よりお祈り申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和七年八月二十七日

江田島市長 土手 三生